



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場会社名 株式会社よみうりランド

上場取引所 東

コード番号 9671 URL <http://www.yomiuriland.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関根 達雄

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経理部担当 (氏名) 関野 治彦 (TEL) 044-966-1134

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,710	11.1	1,872	51.7	1,976	48.1	△3,264	—
24年3月期第2四半期	7,840	△4.8	1,234	△15.8	1,335	△15.0	771	△20.7

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △3,913百万円( —%) 24年3月期第2四半期 551百万円( 143.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△41.88	—
24年3月期第2四半期	9.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	48,423	14,714	30.4
24年3月期	53,524	18,974	35.4

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 14,714百万円 24年3月期 18,974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,665	7.5	2,676	33.3	3,006	38.8	△2,866	—	△36.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期2Q	83,522,024株	24年3月期	83,522,024株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	5,721,333株	24年3月期	5,118,423株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期2Q	77,946,582株	24年3月期2Q	78,990,039株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢や天候等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として緩やかに景気が回復しつつあったものの、世界景気の減速等の影響により足踏みがみられました。先行きについても、欧州政府債務危機を要因とする世界景気の更なる下振れが、わが国の景気を下押しするリスクとなっています。

このような状況の下、当社は他施設との差別化を図っていくための独自の企画や、顧客満足度の一層の向上に努めてまいりました。

公営競技部門の川崎競馬は、前年同期比2日増の34日開催されました。重賞競走は6月の「関東オークス」、7月の「スパーキングレディーカップ」などが開催されました。また、前年12月より開始したJRAの場外発売「ウインズ川崎」にも、引き続き多くのファンが訪れました。更に、11月のダート競馬の祭典「JBC競走」開催に向けて場内整備を進めました。船橋競馬は、前年は震災と台風の影響による本場開催の中止があったため、前年同期比10日増となる29日開催されました。重賞競走は5月のビッグレース「かしわ記念」、9月の「日本テレビ盃」が開催されました。「かしわ記念」開催日には、近隣商業施設とコラボレーションしたイベント「おうまフェス2012～親子であそぼ。～」を主催し、賑わいを見せました。船橋オートレースは、前年は震災の影響により4月の開催が中止となったことなどもあり、前年同期比12日増となる41日開催されました。5月には恒例のGI「黒潮杯」が行われました。なお、小型自動車競走法の一部改正に伴い、6月の本場開催よりの中車券の払戻率が75%から70%となりました。競輪場外車券売場「サテライト船橋」は、前年同期比4日増の180日実施されました。7月に47年ぶりに復活した女子競輪「ガールズケイリン」にちなんだ応援企画を実施し好評を博しました。なお、通期の開催日数につきましては、川崎競馬は2日増、船橋競馬は6日増、船橋オートレースは5日増の予定です。

ゴルフ部門の東京よみうりカントリークラブは、猛暑の影響で夏期の予約が伸び悩んだものの、積極的な外部営業により新規コンペを獲得するなどした結果、入場者は前年並みに推移いたしました。よみうりゴルフ倶楽部は、特色のある自主コンペの開催や特別料金を設定するなどして集客の強化をしたことなどにより、入場者は増加いたしました。また、遊園地のイベント「ほたるの宵」と連携した恒例のディナーイベントを実施し好評を博しました。静岡よみうりカントリークラブは、新東名高速道路開通を記念しネット予約によるスペシャルプランや、お盆期間中は料金を平準化する施策などを実施した結果、入場者は増加いたしました。千葉よみうりカントリークラブは、来場者へのスクラッチカード配布イベントや、集客が困難な日にタイムリーな料金施策を実施するなどしたものの、雨天日の増加や台風の影響などにより、入場者は減少いたしました。

遊園地部門の遊園地は、春に桜をテーマにした新イベント「SAKURAKUEN」、ゴールデンウィークには昨年続き「全国ご当地グルメ祭2012」を開催し、ともに活況を呈しました。また、恒例となりました「ほたるの宵」や夏期の「スプラッシュバンデット」は、新たな趣向を取り入れ集客を図りました。これらの結果、入園者は増加いたしました。プールWAIは、引き続きエンターテイメントプールとして多くのイベントを開催いたしました。強化した放水ショーとオリジナルダンスのコラボレーションショー「ダンスプラッシュ」、オリジナルのおもちゃのアヒル「ちょいポップアヒル」を用いたレース大会、夜間のピアガーデン営業など例年人気のイベントに更に磨きをかけ、お客様から好評を博しました。また、これらのイベントが多くの子供たちに紹介されたことなどが奏功し、プールWAIは開場以来最高の入場者数を記録いたしました。温浴施設「丘の湯」は、本年3月の丘の湯の改修や丘の湯プラザのリニューアルが好評を得て、入場者は増加いたしました。温浴施設「季乃彩（ときのいろどり）」は、様々なイベントを実施したものの、入場者は減少いたしました。ゴルフガーデン（練習場）は、定休日である火曜日でも営業したことや、打ち放題イベントが好評だったものの、夏期の猛暑が影響し入場者は減少いたしました。

以上の結果、総合レジャー事業の売上高は76億8千3百万円（前年同期比14.3%増）となりました。

また、不動産事業の売上高は、販売用宅地の分譲が減少したことなどにより、7億1千4百万円（同8.9%減）、サポートサービス事業の売上高は、連結内部から新たな業務を受託したことなどに伴い、13億8千1百万円（同44.5%増）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は87億1千万円（前年同期比11.1%増）、営業利益は18億7千2百万円（同51.7%増）、経常利益は19億7千6百万円（同48.1%増）となりましたが、当社及び連結子会社が保有するゴルフ場（静岡よみうりカントリークラブ）等の固定資産について減損損失（特別損失）41億7千2百万円を計上したため、32億6千4百万円の四半期純損失となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間に減損損失を計上する見込みとなったことに伴い、平成24年9月21日に第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想の修正を行いました。当第2四半期連結累計期間の業績が概ね修正予想通りの推移をしていることもあり、通期の業績予想につきましても、当該修正予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,166,089	6,256,334
受取手形及び売掛金	972,071	1,017,763
たな卸資産	224,162	220,859
繰延税金資産	144,532	165,765
その他	123,127	173,621
貸倒引当金	△378	△1,041
流動資産合計	7,629,603	7,833,302
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,022,190	17,530,205
土地	17,884,790	14,172,382
建設仮勘定	274,248	511,313
その他(純額)	765,185	848,311
有形固定資産合計	36,946,414	33,062,213
無形固定資産		
その他	83,883	88,749
無形固定資産合計	83,883	88,749
投資その他の資産		
投資有価証券	8,052,910	7,052,505
繰延税金資産	575,909	173,500
その他	235,873	213,095
投資その他の資産合計	8,864,693	7,439,100
固定資産合計	45,894,991	40,590,064
資産合計	53,524,595	48,423,367
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	408,874	376,148
短期借入金	3,065,000	3,065,000
1年内返済予定の長期借入金	1,526,800	1,526,800
未払法人税等	462,602	763,040
賞与引当金	116,552	116,499
その他	1,943,393	2,046,245
流動負債合計	7,523,223	7,893,735
固定負債		
長期借入金	1,758,800	995,400
繰延税金負債	997,422	483,873
退職給付引当金	591,924	620,671
役員退職慰労引当金	103,266	104,811
長期預り金	23,293,589	23,245,629
その他	282,266	364,374
固定負債合計	27,027,269	25,814,761
負債合計	34,550,493	33,708,496

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,053,030	6,053,030
資本剰余金	4,730,578	4,730,552
利益剰余金	8,478,373	5,018,137
自己株式	△1,760,018	△1,910,135
株主資本合計	17,501,964	13,891,584
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,472,137	823,286
その他の包括利益累計額合計	1,472,137	823,286
純資産合計	18,974,101	14,714,870
負債純資産合計	53,524,595	48,423,367

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	7,840,489	8,710,276
売上原価	5,808,902	5,993,071
売上総利益	2,031,587	2,717,205
販売費及び一般管理費	796,971	844,880
営業利益	1,234,615	1,872,325
営業外収益		
受取利息	569	470
受取配当金	117,646	117,570
その他	24,542	18,856
営業外収益合計	142,757	136,897
営業外費用		
支払利息	42,120	32,076
その他	221	328
営業外費用合計	42,341	32,405
経常利益	1,335,031	1,976,817
特別利益		
固定資産売却益	—	1,318
受取補償金	100,000	—
特別利益合計	100,000	1,318
特別損失		
固定資産除却損	153,513	121,204
災害による損失	—	4,815
減損損失	52,170	4,172,408
特別損失合計	205,683	4,298,427
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,229,347	△2,320,291
法人税、住民税及び事業税	483,214	724,753
法人税等調整額	△25,602	219,182
法人税等合計	457,612	943,935
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	771,735	△3,264,226
四半期純利益又は四半期純損失(△)	771,735	△3,264,226



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	771,735	△3,264,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△220,601	△648,850
その他の包括利益合計	△220,601	△648,850
四半期包括利益	551,133	△3,913,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	551,133	△3,913,077
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	総合レジヤ ー事業	不動産事業	サポ ート サー ビス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,714,932	783,450	342,106	7,840,489	—	7,840,489
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,196	900	614,296	621,393	△621,393	—
計	6,721,128	784,350	956,403	8,461,883	△621,393	7,840,489
セグメント利益	1,442,851	450,484	68,492	1,961,828	△727,212	1,234,615

(注) 1. セグメント利益の調整額△727,212千円には、セグメント間取引消去2,238千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△729,451千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「総合レジヤー事業」セグメントにおいて減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては52,170千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	総合レジヤ ー事業	不動産事業	サポ ート サー ビス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,677,296	712,984	319,994	8,710,276	—	8,710,276
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,955	1,380	1,061,828	1,069,164	△1,069,164	—
計	7,683,252	714,364	1,381,823	9,779,440	△1,069,164	8,710,276
セグメント利益	2,130,709	403,742	99,262	2,633,714	△761,389	1,872,325

(注) 1. セグメント利益の調整額△761,389千円には、セグメント間取引消去△125千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△761,263千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「総合レジャー事業」セグメントにおいて減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては4,148,929千円であります。なお、報告セグメントに帰属しない全社資産についての減損損失計上額は、当第2四半期連結累計期間においては23,478千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。